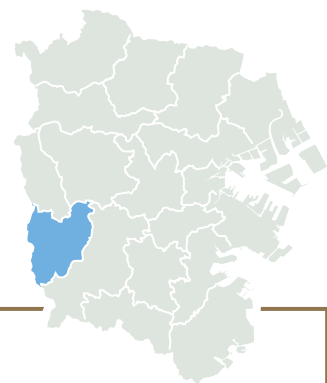




区のマーク

# 泉区



## 実施までの準備

- 泉区の高齢化は進み、今後の在宅医療や看取りの増加が見込まれています。本人(高齢者)が自分らしく過ごすための医療・ケアについて考え、選択できる機会が持てるよう多職種が互いの役割を活かしながら支援する体制の構築が必要です。これまでの研修等でも「必要性を感じながらも触れる機会やきっかけがない」との声が多いACPについて、昨年度に引き続き、よりイメージがしやすく実践的な研修内容となるようロールプレイに加え、デモンストレーション等も取り入れ、疑似的に体験することで、その理解を深め身近に感じてもらう機会となることを目指しました。
- 昨年度参加者が少なめだったため、今年度は、年度始めの多職種連携会議や早い段階から周知を行い、できるだけ多くの方に参加いただけるよう周知の工夫を行いました。



## 実施概要

### 研修タイトル ACP研修 実践編～人生会議を体験して学ぶ～

**実施方法** 会場での開催

**日時** 令和6年9月12日(木) 13時30分～16時

**場所** 泉区医師会館

- 内容**
- ▶ 講義「ACPに関する理解」(医療法人社団 鵬友会 ゆめが丘総合病院 理事長 池島 秀明氏)
  - ▶ 講義「ACPの普及啓発について」(旭区在宅医療相談室 洪 正順氏)
  - ▶ 横浜市「人生会議」短編ドラマ視聴「働き盛り世代(壮年期)編 ～みどりの見える街で～」
  - ▶ デモンストレーション  
ACPを進めていく上での大事なポイントを説明。
  - ▶ ロールプレイ・発表  
「人生会議短編ドラマのその後」という設定のもと、人生会議のロールプレイを実施。

**参加者** 49人

#### 内訳

- ①医師(1人) ②病院看護師(2人) ③訪問看護師(1人) ④歯科医師(1人) ⑤薬剤師(9人)  
⑥栄養士(1人) ⑦行政職員(7人) ⑧ケアマネジャー(13人) ⑨ホームヘルパー(1人) ⑩施設  
介護員(1人) ⑪地域包括支援センター職員(8人)  
⑫その他の職種(生活相談員1人、福祉用具事業者1人、在宅医療相談室2人)



## 参加者の意見

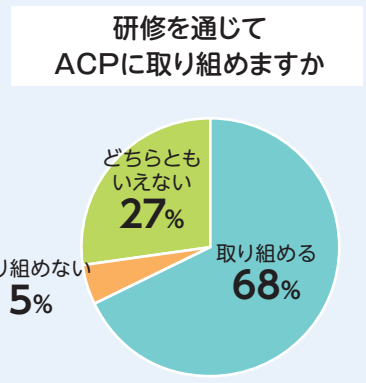
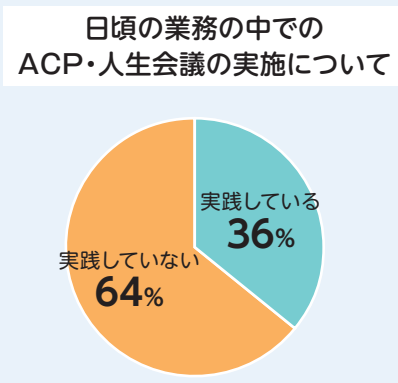
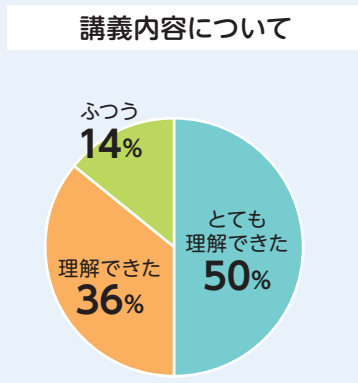
- ACPというのは、具合が悪くなってからやるより、健康なうちから日々話し合っていく事が重要だと気づきました。
- 本人の意向に添って、一度に決めなくても、何回も人生会議を開いて行くことができることを学びました。
- 実際に、ロールプレイをしてみました。本音はなかなか言えませんでした。本人、家族は、もっと言えないでいるのだらうと思いました。
- 講師の話も分かりやすく講義での学びに加えて、実際の場面を体験することで、ACPの理解につながったと思います。

## 研修の成果

昨年度に引き続き、ロールプレイを取り入れた実践的な内容での研修でした。初めての参加者がほとんどであり、昨年度に比べて参加者も増えました。講義に加え、講師によるロールプレイのデモンストレーションを行い、その解説も加わることでより理解が深まり、ロールプレイに入ることができました。ロールプレイにより演じた役として、またそれぞれの職種として感じたことを共有し、ACPについての理解を深めることができました。



### アンケート結果の一部 n=22



## 今後の方向性と次年度に向けて

- ACPについての講義とロールプレイの体験により、ACPをより実践的に、身近に感じられる機会となりました。疑似的な体験により各職種の感想や立場を共有することができました。
- 引き続き、互いの職種を理解し顔の見える関係づくりや医療介護関係者のスキルアップが必要なため、今後も、各職種が連携し、チームで切れ目なく支援する医療介護連携体制の構築に向けた内容・テーマで研修を企画検討・実施していきます。